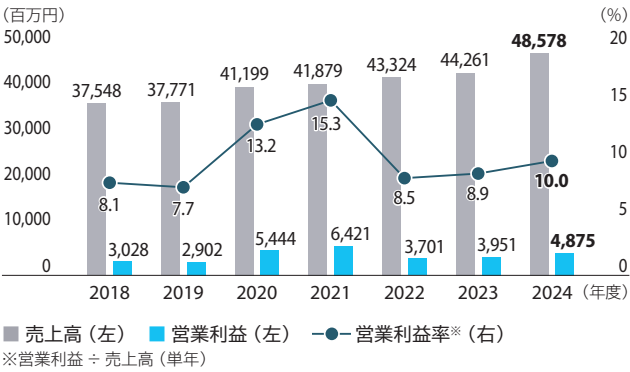




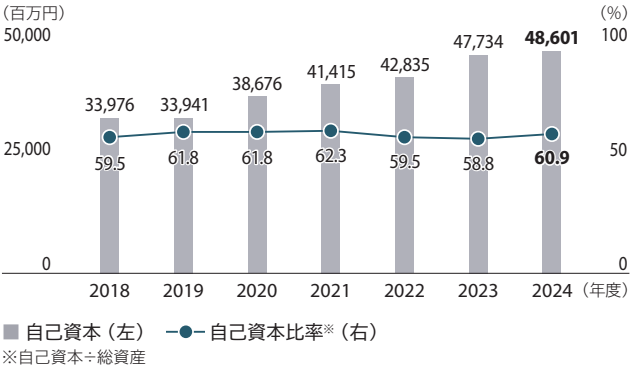
財務・非財務ハイライト（連結）

売上高、営業利益、営業利益率



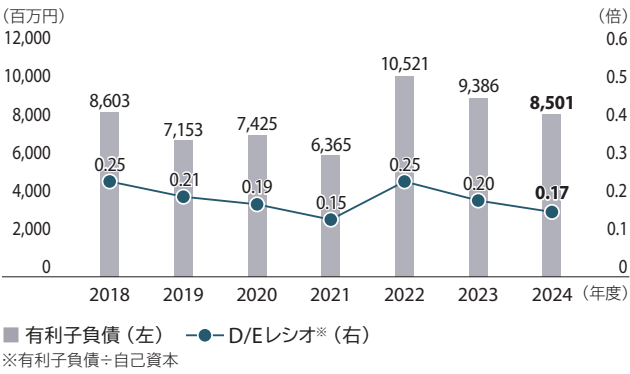
2024年度は、基礎化学品での減少がありましたが、機能性色素、機能性樹脂、アグロサイエンス、物流関連における増加および円安効果により、売上高は、前期比で4,316百万円増（9.8%増）の48,578百万円、営業利益は、前期比924百万円増（23.4%増）の4,875百万円となりました。

自己資本、自己資本比率



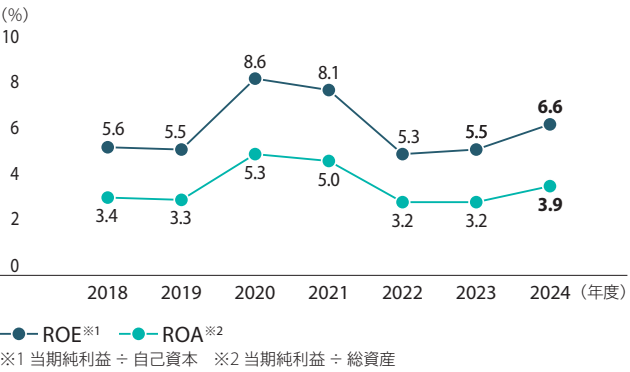
自己資本比率は、60%前後で安定的に推移しております。今後とも事業から得られる利益を中心に自己資本を蓄積し、さらなる経営基盤の安定化を図ってまいります。

有利子負債、D/Eレシオ



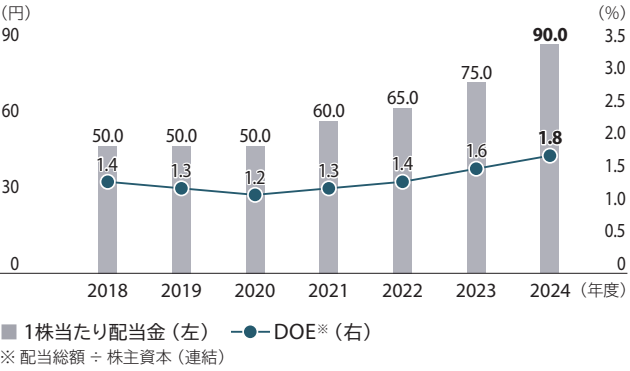
有利子負債は、約定弁済により減少しており、2024年度のD/Eレシオは、0.17倍へ低下しました。成長に資する設備投資等とのバランスをとりつつ、財務の健全性を維持してまいります。

ROE、ROA



2024年度は、利益の増加によりROE・ROAともに向上しました。今後も利益の拡大を目指しつつ、資産の効率化を実行してまいります。

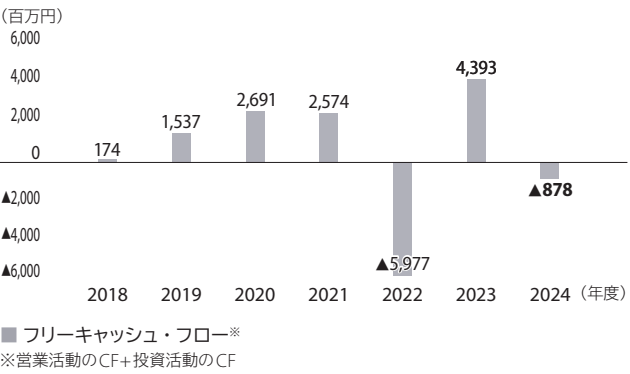
1株当たり配当金、DOE



業績動向・将来の事業展開・不測のリスク等を総合的に勘案し、特に、「株主資本配当率（DOE）」を意識し、今後とも安定的・継続的に、株主の皆様への適正な還元を実施してまいります。

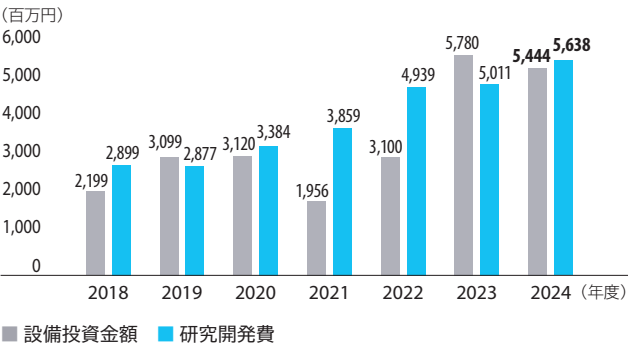
※ 1株当たり配当金は、2025年4月1日付の株式分割前の株式数を基準としております。

フリーキャッシュ・フロー



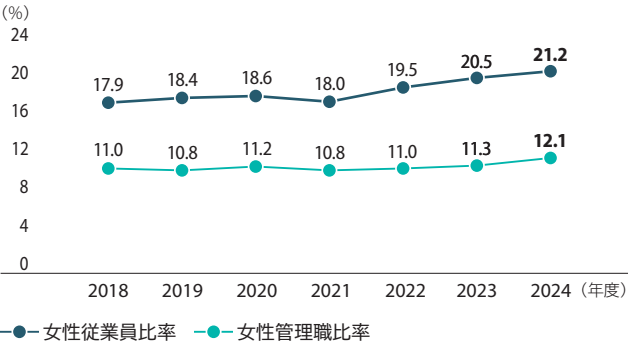
2024年度は、継続した設備投資の実行と共に、資金の有効活用を目的とする定期預金の預入等の拡大により、フリーキャッシュ・フローは減少に転じました。引き続き、営業活動・投資活動をバランスよく実行し、将来の成長につなげてまいります。

設備投資金額、研究開発費



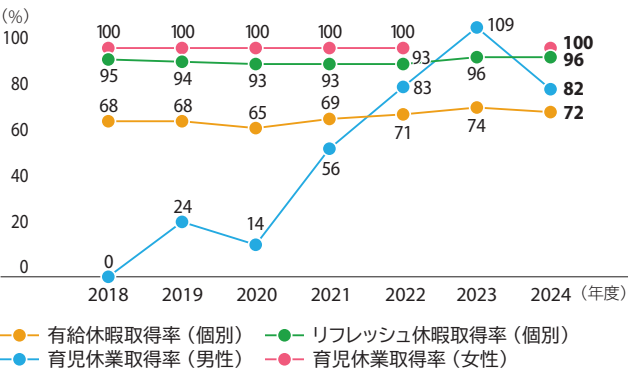
保土谷化学グループの成長ドライバーである機能性色素セグメントにおける設備投資、研究開発が中心となっており、将来の成長に資する投資や活動を継続して実施してまいります。

女性従業員比率、女性管理職比率



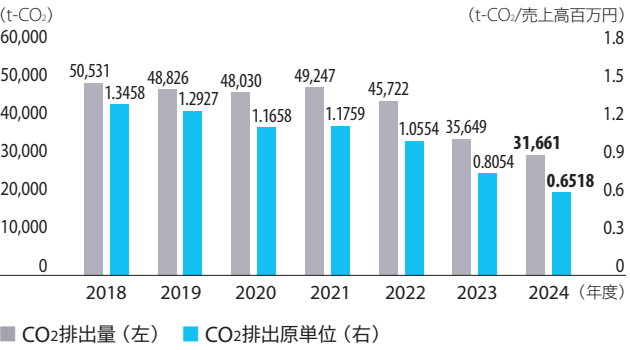
保土谷化学グループでは、重要施策の一つとして、女性の活躍を推進しております。2018年度以降は女性管理職比率10%以上を達成し、2025年度には13%以上を目標としてまいります。女性管理職比率の向上に向け、さまざまな施策を実施しております。

有給休暇取得率、リフレッシュ休暇取得率、育児休業取得率



保土谷化学の年次有給休暇取得率は過去3年間70%以上を維持しているのに加え、年次有給休暇とは別に、5営業日連続で取得できる「リフレッシュ休暇制度」を2018年度から設けており、従業員の心身のリフレッシュに活用されております。また、育児休業取得率については、社内啓発活動を実施し、男性の取得率は2024年度実績で82%です。※育児休業取得率（女性）は、2023年度対象者はおりませんでした。

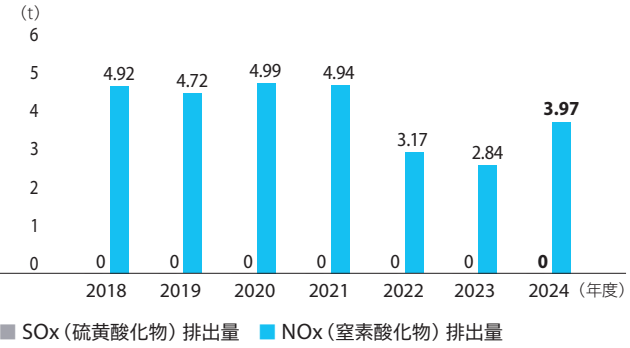
CO₂排出量、CO₂排出原単位（国内）



保土谷化学が排出する温室効果ガス（GHG）のほとんどがCO₂です。2024年度のCO₂排出量は、設備稼働の増加に伴いエネルギー使用量が増加しましたが、CO₂フリー電力の導入事業所の拡大により、対2023年度比で減少しております。

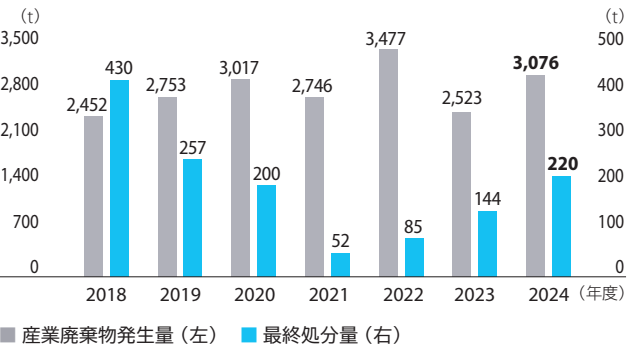
※非エネルギー起源のCO₂排出量は含んでおりません。

SO_x排出量、NO_x排出量（国内）



工場で使用する原燃料の都市ガス化を推進し、2011年度で切り替えを完了させたことにより、SO_x排出量は2012年度より「ゼロ」を継続しております。また、NO_x排出量については、大気への排出を抑制する対策を行っております。

産業廃棄物発生量、最終処分量（国内）



保土谷化学グループは、中期経営計画で「対前年度発生量以下」をKPIとしておりますが、2024年度の総発生量および最終処分量は、対前年度比でそれぞれ22%、53%の増加となりました。生産活動の増加、生産品目構成差等の影響によるものではあります。増加した事実を重く受け止め、取り組みを強化し、産業廃棄物削減に努めてまいります。